

令和5年1月12日

尼崎市環境基本計画改定部会

資料1

尼崎市環境基本計画の改定・尼崎市生物多様性地域戦略の

策定のための市民意識調査

調査結果報告書（速報 1/6 現在）

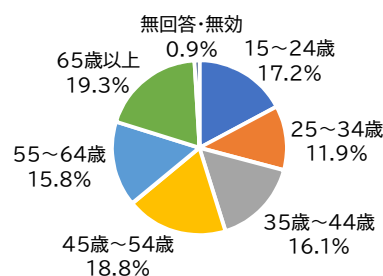
市民アンケート実施概要	
調査対象	尼崎市民 2,500 人 (15 歳以上の市民)
調査時期	発送：2022年12月7日 締切：2022年12月28日
調査方法	・無作為抽出 ・郵送配布／郵送回収、WEB 回収
回収数	436 (郵送 280 件、WEB156 件)
回収率	17.4%

1 ご回答者の属性

問1 あなたの年齢をお答えください。(〇は一つ)

- ・「65歳以上」とする回答が19.3%と最も多く、ついで「45歳～54歳」が18.8%、「15～24歳」が17.2%となっています。

選択肢	合計	割合
15～24歳	75	17.2%
25～34歳	52	11.9%
35歳～44歳	70	16.1%
45歳～54歳	82	18.8%
55～64歳	69	15.8%
65歳以上	84	19.3%
無回答・無効	4	0.9%
回答数	436	100.0%

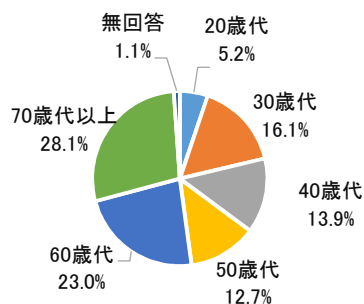


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「70歳代以上」とする回答が28.1%と最も多く、ついで「60歳代」が23.0%、「30歳代」が16.1%となっています。
- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の年齢区分が異なるものの、今回の調査の方が回答者に占める若い世代の構成割合が高い傾向にあります。

【現行計画策定時の調査結果】

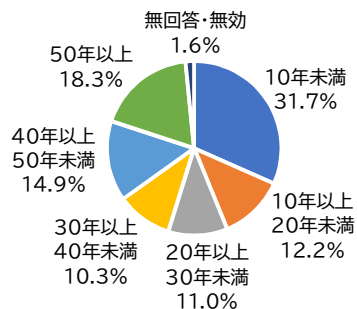
選択肢	割合
20歳代	5.2%
30歳代	16.1%
40歳代	13.9%
50歳代	12.7%
60歳代	23.0%
70歳代以上	28.1%
無回答	1.1%



問2 あなたの尼崎市での居住年数をお答えください。(〇は1つ)

- ・「10年未満」とする回答が31.7%と最も多く、ついで「50年以上」が18.3%、「40年以上50年未満」が14.9%となっています。

選択肢	合計	割合
10年未満	138	31.7%
10年以上20年未満	53	12.2%
20年以上30年未満	48	11.0%
30年以上40年未満	45	10.3%
40年以上50年未満	65	14.9%
50年以上	80	18.3%
無回答・無効	7	1.6%
回答数	436	100.0%

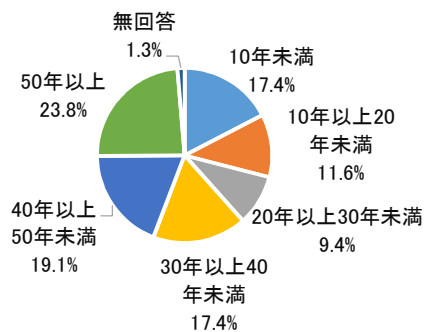


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「50年以上」とする回答が23.8%と最も多く、ついで「40年以上50年未満」が19.1%、「10年未満」が17.4%となっています。
- ・今回の調査の方が、尼崎市での居住年数が少ない傾向にあります。

【現行計画策定時の調査結果】

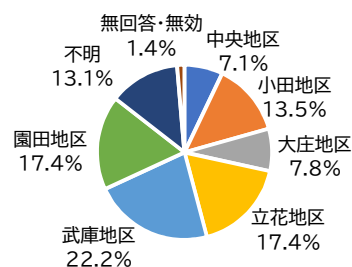
選択肢	割合
10年未満	17.4%
10年以上20年未満	11.6%
20年以上30年未満	9.4%
30年以上40年未満	17.4%
40年以上50年未満	19.1%
50年以上	23.8%
無回答	1.3%



問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

・「武庫地区」とする回答が22.2%と最も多く、ついで、「立花地区」、「園田地区」が17.4%となっています。

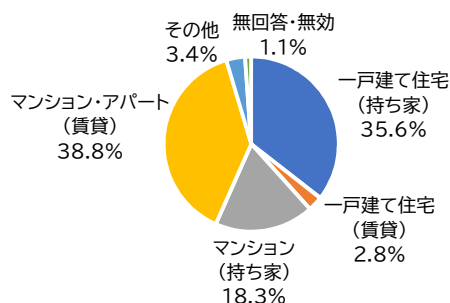
選択肢	合計	割合
中央地区	31	7.1%
小田地区	59	13.5%
大庄地区	34	7.8%
立花地区	76	17.4%
武庫地区	97	22.2%
園田地区	76	17.4%
不明	57	13.1%
無回答・無効	6	1.4%
回答数	436	100.0%



問4 あなたの住居の形態をお答えください。(〇は1つ)

・「マンション・アパート（賃貸）」とする回答が38.8%と最も多く、ついで「一戸建て住宅（持ち家）」が35.6%、「マンション（持ち家）」が18.3%となっています。

選択肢	合計	割合
一戸建て住宅(持ち家)	155	35.6%
一戸建て住宅(賃貸)	12	2.8%
マンション(持ち家)	80	18.3%
マンション・アパート(賃貸)	169	38.8%
その他	15	3.4%
無回答・無効	5	1.1%
回答数	436	100.0%

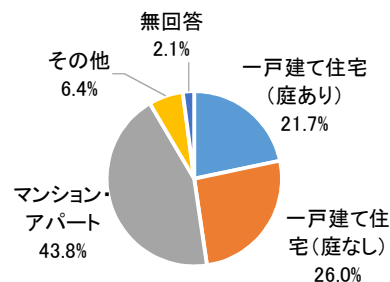


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「マンション・アパート」とする回答が43.8%と最も多く、ついで「一戸建て住宅（庭なし）」が26.0%、「一戸建て住宅（庭あり）」が21.7%となっています。
- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の区分が異なるものの、今回の調査の方が一戸建て住宅の割合が少なく、マンションなどの割合が高くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

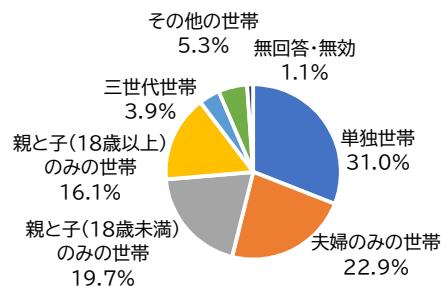
選択肢	割合
一戸建て住宅(庭あり)	21.7%
一戸建て住宅(庭なし)	26.0%
マンション・アパート	43.8%
その他	6.4%
無回答	2.1%



問5 あなたの世帯構成をお答えください。(〇は1つ)

- ・「単独世帯」とする回答が31.0%と最も多く、ついで「夫婦のみの世帯」が22.9%、「親と子(18歳未満)のみの世帯」が19.7%となっています。

選択肢	合計	割合
単独世帯	135	31.0%
夫婦のみの世帯	100	22.9%
親と子(18歳未満)のみの世帯	86	19.7%
親と子(18歳以上)のみの世帯	70	16.1%
三世帯世帯	17	3.9%
その他の世帯	23	5.3%
無回答・無効	5	1.1%
回答数	436	100.0%

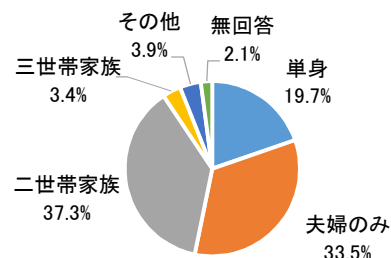


【参考】現行計画策定時(2013年)の結果との比較

- ・現行計画策定時(2013年)は、「二世帯家族」とする回答が37.3%と最も多く、ついで「夫婦のみ」が33.5%、「単身」が19.7%となっています。
- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の年齢区分が異なるものの、今回の調査の方が単独世帯の割合が高くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

選択肢	割合
単身	19.7%
夫婦のみ	33.5%
二世帯家族	37.3%
三世帯家族	3.4%
その他	3.9%
無回答	2.1%

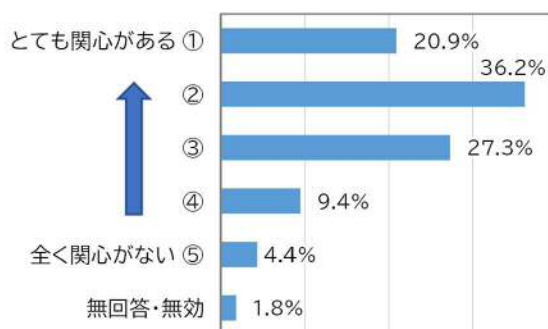


2 自然とのふれあいの状況

問6 あなたの自然への関心度合いを5段階でお答えください。(〇は1つ)

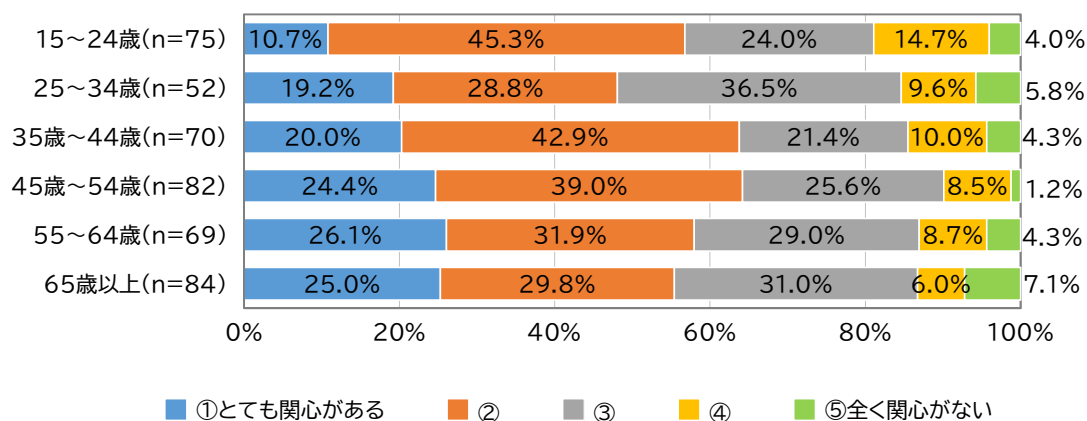
- ・5段階のうち、「②」とする回答が36.2%と最も多く、ついで「③」が27.3%、「①とても関心がある」が20.9%となっています。

選択肢	合計	割合
①とても関心がある	91	20.9%
②	158	36.2%
③	119	27.3%
④	41	9.4%
⑤全く関心がない	19	4.4%
無回答・無効	8	1.8%
回答数	436	100.0%



□ 年齢別

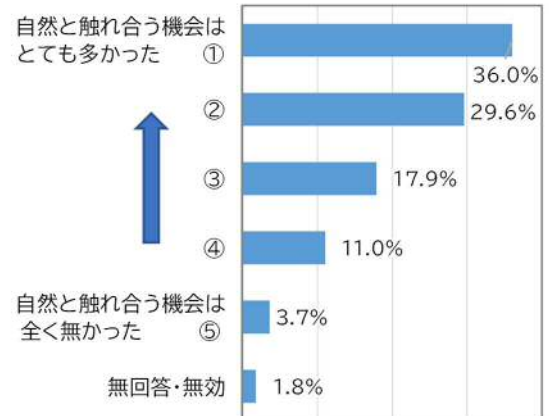
- ・年齢別では、「①とても関心がある」とする回答は45歳以降の年齢区分で高く、若年層ほど割合が低い傾向にあります。



問7 あなたの子どものごころ（概ね小学校卒業まで）の自然体験の状況について5段階でお答えください。（〇は1つ）

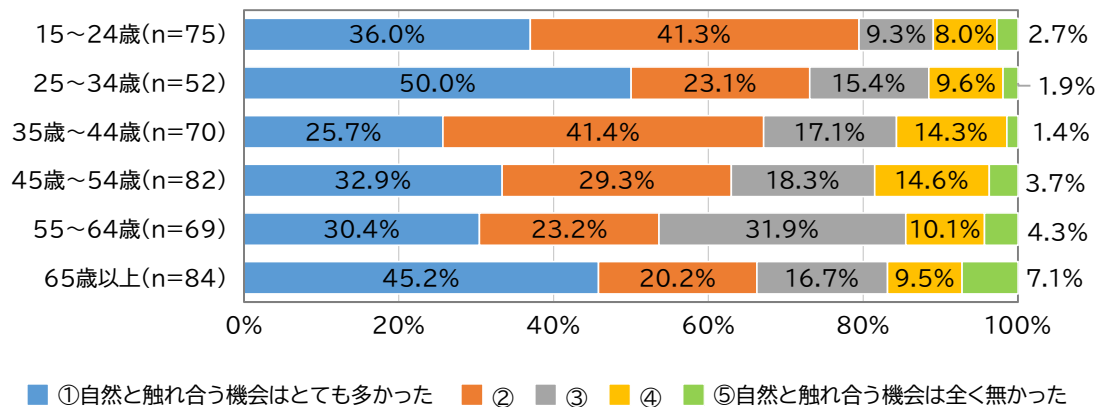
・「①自然と触れ合う機会はとても多かった」とする回答が36.0%と最も多く、ついで「②」が29.6%、「③」が17.9%となっています。

選択肢	合計	割合
①自然と触れ合う機会はとても多かった	157	36.0%
②	129	29.6%
③	78	17.9%
④	48	11.0%
⑤自然と触れ合う機会は全く無かった	16	3.7%
無回答・無効	8	1.8%
回答数	436	100.0%



□ 年齢別

・年齢別では、「①自然と触れ合う機会はとても多かった」とする回答は25歳～34歳が最も多く、次いで65歳以上、45歳～54歳が続いています。

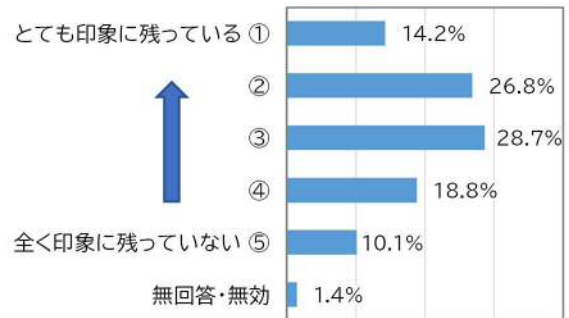


3 概ね小学校卒業時までの環境学習の状況

問8 あなたの子どものころ（概ね小学校卒業まで）に学んできた環境問題について5段階でお答えください。（〇は1つ）

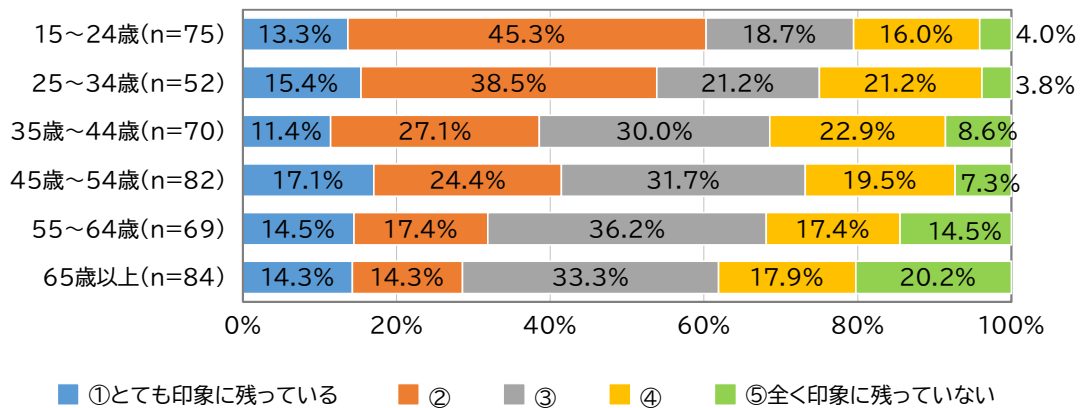
・「③」とする回答が28.7%と最も多く、ついで「②」が26.8%、「④」が18.8%となっています。

選択肢	合計	割合
①とても印象に残っている	62	14.2%
②	117	26.8%
③	125	28.7%
④	82	18.8%
⑤全く印象に残っていない	44	10.1%
無回答・無効	6	1.4%
回答数	436	100.0%



□ 年齢別

・年齢別では、「①とても印象に残っている」とする回答は年齢区分別に大きな差はなく、「②」とする回答は若い世代ほど高い傾向にあります。

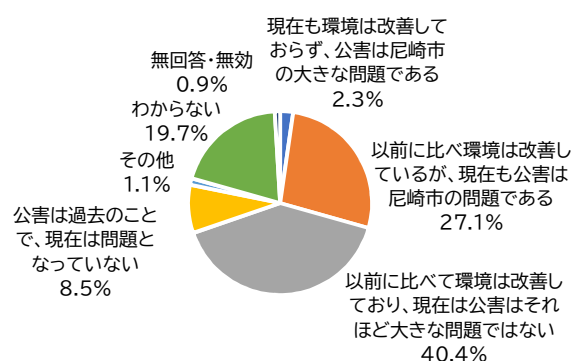


4 公害問題に関する認識

問9 ニ崎市は過去に大気汚染や水質汚濁などの深刻な公害問題に直面しました。その後、様々な取組が行われ、現在の環境となっています。あなたは、尼崎市の公害の現状についてどのようにお考えですか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- ・「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答が40.4%と最も多く、ついで「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」が27.1%、「わからない」が19.7%となっています。

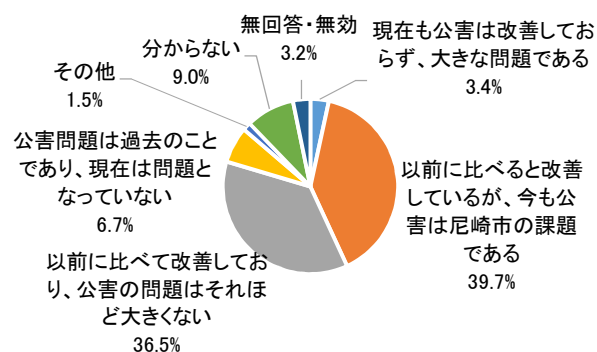
選択肢	合計	割合
現在も環境は改善しておらず、公害は尼崎市の大きな問題である	10	2.3%
以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である	118	27.1%
以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない	176	40.4%
公害は過去のこと、現在は問題となっていない	37	8.5%
その他	5	1.1%
わからない	86	19.7%
無回答・無効	4	0.9%
回答数	436	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

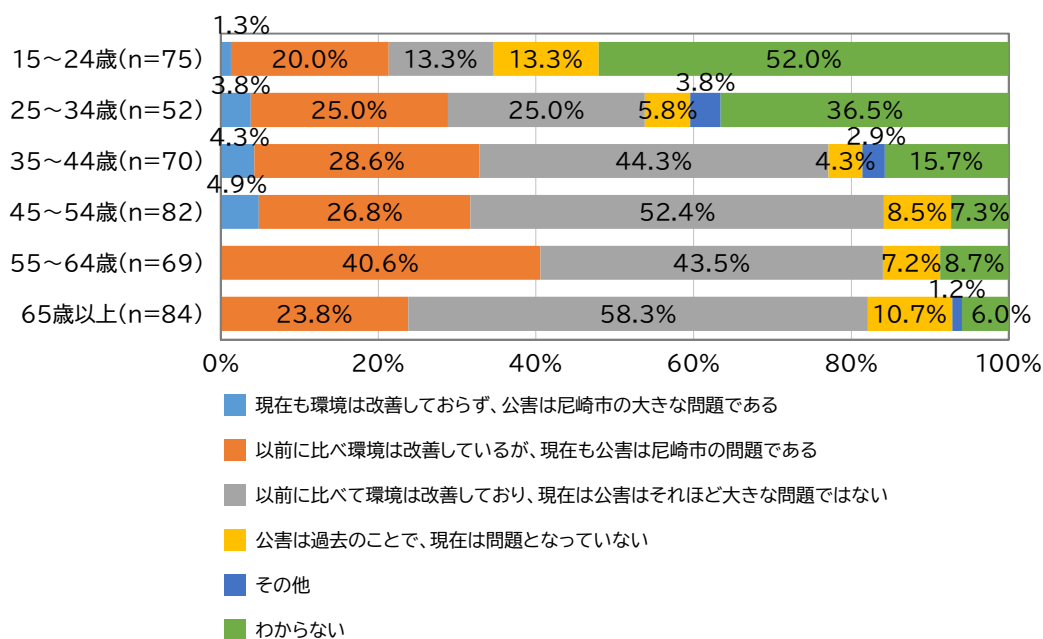
- ・現行計画策定時（2013年）は、「以前に比べると改善しているが、今も公害は尼崎市の課題である」とする回答が39.7%と最も多く、ついで「以前に比べて改善しており、公害の問題はそれほど大きくない」が36.5%、「分からない」が9.0%となっています。
- ・今回の調査では、前回の調査に比べて「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」の回答が少なく、「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答が多くなっています。

選択肢	割合
現在も公害は改善しておらず、大きな問題である	3.4%
以前に比べると改善しているが、今も公害は尼崎市の課題である	39.7%
以前に比べて改善しており、公害の問題はそれほど大きくない	36.5%
公害問題は過去のことであり、現在は問題となっていない	6.7%
その他	1.5%
分からない	9.0%
無回答・無効	3.2%



□ 年齢別

- ・年齢別では、若年層ほど「わからない」とする回答が多くなっています。
- ・65歳以上では、「以前に比べて改善しており、公害の問題はそれほど大きくない」とする回答が多くなっています。



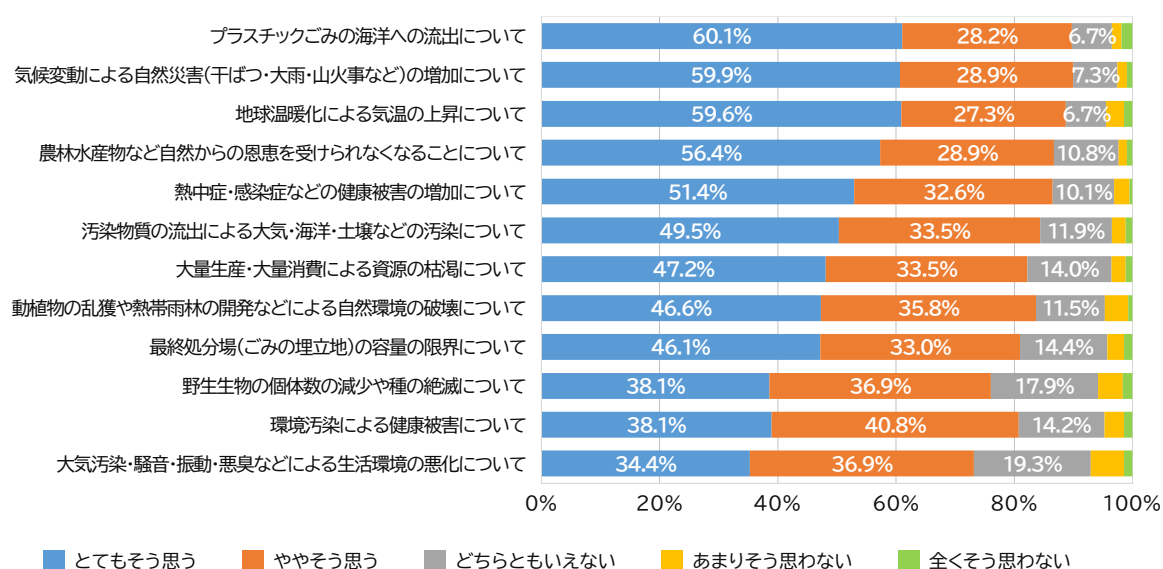
5 環境問題に対する考え

問10 環境問題に対する考え

1. 環境リスク認知（その影響は深刻なものだと思う）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「プラスチックごみの海洋への流出について」の60.1%で最も多く、ついで「気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について」の59.9%、「地球温暖化による気温の上昇について」の59.6%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について」が34.4%、「環境汚染による健康被害について」が38.1%となっています。

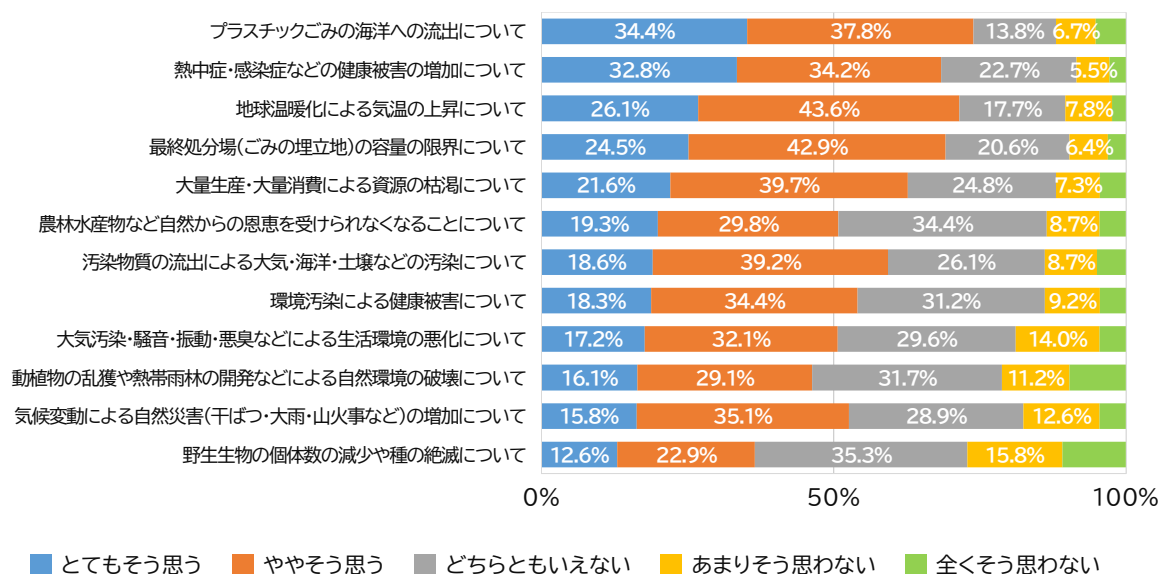
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
プラスチックごみの海洋への流出について	60.1%	28.2%	6.7%	1.6%	1.8%
気候変動による自然災害(干ばつ・大雨・山火事など)の増加について	59.9%	28.9%	7.3%	1.6%	0.9%
地球温暖化による気温の上昇について	59.6%	27.3%	6.7%	3.0%	1.4%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることについて	56.4%	28.9%	10.8%	1.4%	0.9%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	51.4%	32.6%	10.1%	2.5%	0.5%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	49.5%	33.5%	11.9%	2.3%	1.1%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	47.2%	33.5%	14.0%	2.3%	1.1%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	46.6%	35.8%	11.5%	3.9%	0.7%
最終処分場(ごみの埋立地)の容量の限界について	46.1%	33.0%	14.4%	2.8%	1.4%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	38.1%	36.9%	17.9%	4.1%	1.6%
環境汚染による健康被害について	38.1%	40.8%	14.2%	3.2%	1.4%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	34.4%	36.9%	19.3%	5.5%	1.4%



2. 責任帰属認知（自分自身の意識や行動にも責任があると思う）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「プラスチックごみの海洋への流出について」の34.4%で最も多く、ついで「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の32.8%、「地球温暖化による気温の上昇について」の26.1%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が12.6%、「気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について」が15.8%となっています。

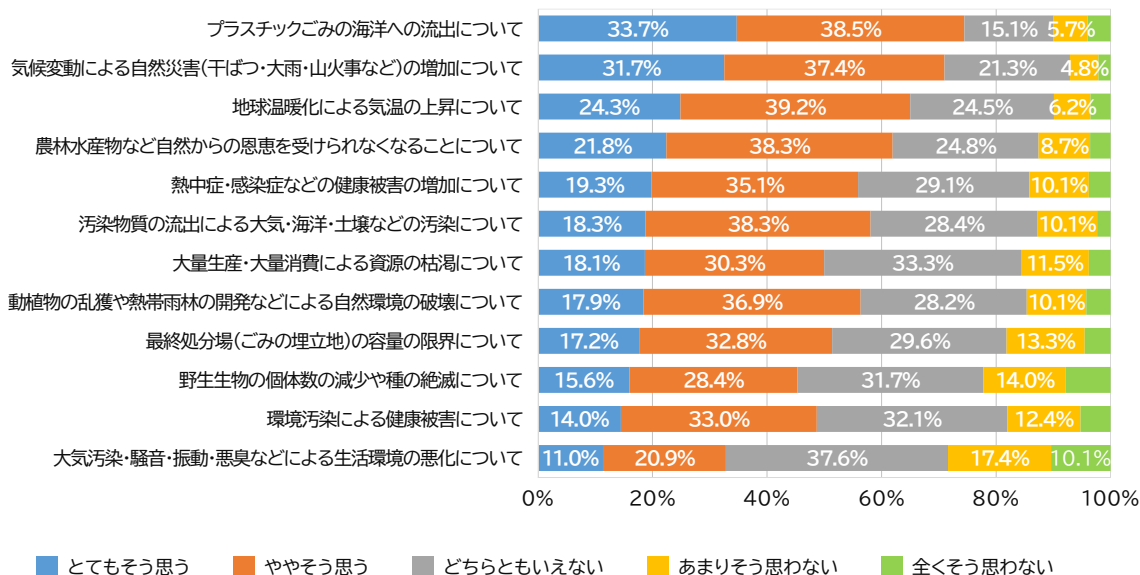
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
プラスチックごみの海洋への流出について	34.4%	37.8%	13.8%	6.7%	5.0%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	32.8%	34.2%	22.7%	5.5%	2.8%
地球温暖化による気温の上昇について	26.1%	43.6%	17.7%	7.8%	2.3%
最終処分場(ごみの埋立地)の容量の限界について	24.5%	42.9%	20.6%	6.4%	3.0%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	21.6%	39.7%	24.8%	7.3%	4.4%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることについて	19.3%	29.8%	34.4%	8.7%	4.4%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	18.6%	39.2%	26.1%	8.7%	4.8%
環境汚染による健康被害について	18.3%	34.4%	31.2%	9.2%	4.4%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	17.2%	32.1%	29.6%	14.0%	4.4%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	16.1%	29.1%	31.7%	11.2%	9.4%
気候変動による自然災害(干ばつ・大雨・山火事など)の増加について	15.8%	35.1%	28.9%	12.6%	4.4%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	12.6%	22.9%	35.3%	15.8%	10.6%



3. 対処有効性認知（自分自身の意識や行動が解決につながると思う）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「プラスチックごみの海洋への流出について」の33.7%で最も多く、ついで「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の31.7%、「最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について」の24.3%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が11.0%、「気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について」が14.0%となっています。

	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
プラスチックごみの海洋への流出について	33.7%	38.5%	15.1%	5.7%	3.9%
気候変動による自然災害(干ばつ・大雨・山火事など)の増加について	31.7%	37.4%	21.3%	4.8%	2.1%
地球温暖化による気温の上昇について	24.3%	39.2%	24.5%	6.2%	3.4%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることにについて	21.8%	38.3%	24.8%	8.7%	3.4%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	19.3%	35.1%	29.1%	10.1%	3.7%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	18.3%	38.3%	28.4%	10.1%	2.3%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	18.1%	30.3%	33.3%	11.5%	3.7%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	17.9%	36.9%	28.2%	10.1%	4.1%
最終処分場(ごみの埋立地)の容量の限界について	17.2%	32.8%	29.6%	13.3%	4.4%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	15.6%	28.4%	31.7%	14.0%	7.6%
環境汚染による健康被害について	14.0%	33.0%	32.1%	12.4%	5.0%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	11.0%	20.9%	37.6%	17.4%	10.1%



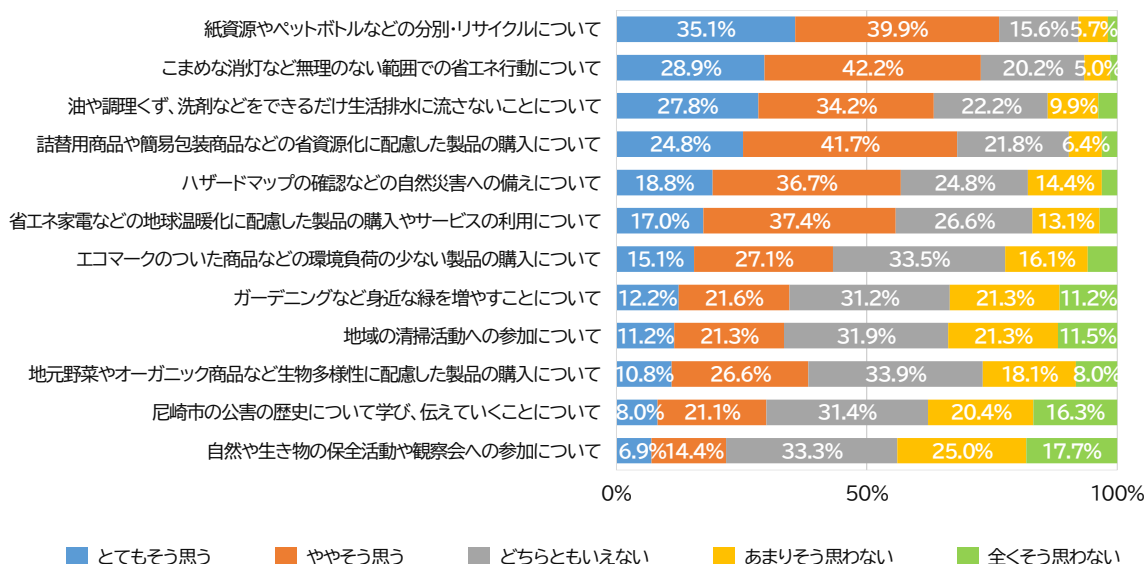
6 環境配慮行動に対する考え

問1 1 環境配慮行動に対する考え

1. 実行可能性評価（行動するための知識や情報がある）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の35.1%で最も多く、ついで「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の28.9%、「油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて」の27.8%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が6.9%、「尼崎市の公害の歴史について」が8.0%となっています。

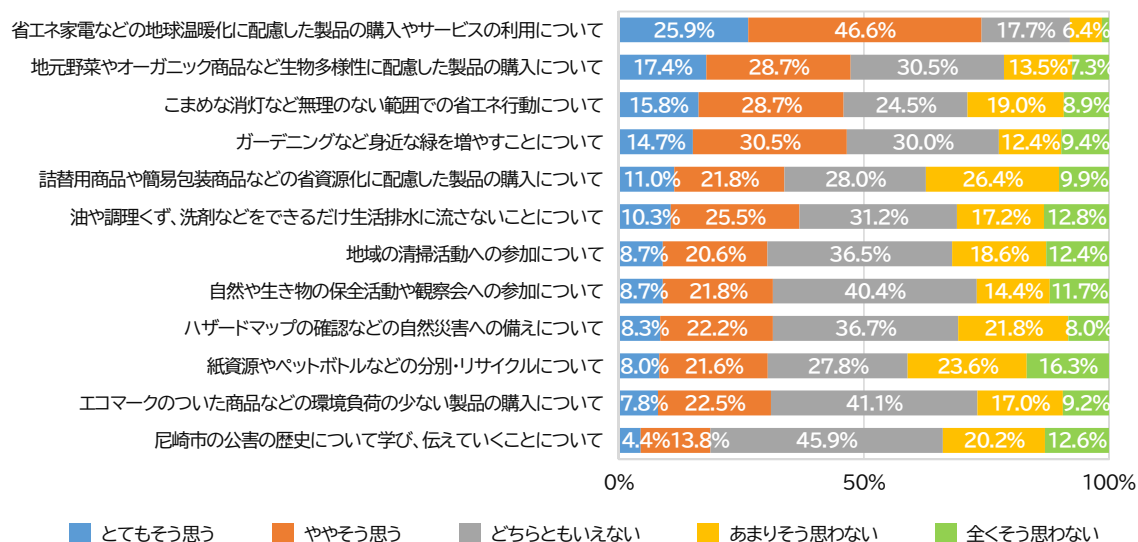
	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	35.1%	39.9%	15.6%	5.7%	1.8%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	28.9%	42.2%	20.2%	5.0%	1.4%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	27.8%	34.2%	22.2%	9.9%	3.7%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	24.8%	41.7%	21.8%	6.4%	3.0%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	18.8%	36.7%	24.8%	14.4%	3.0%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	17.0%	37.4%	26.6%	13.1%	3.4%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	15.1%	27.1%	33.5%	16.1%	5.7%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	12.2%	21.6%	31.2%	21.3%	11.2%
地域の清掃活動への参加について	11.2%	21.3%	31.9%	21.3%	11.5%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	10.8%	26.6%	33.9%	18.1%	8.0%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	8.0%	21.1%	31.4%	20.4%	16.3%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	6.9%	14.4%	33.3%	25.0%	17.7%



2. 便益・費用評価（行動する際に不便があったり、費用面での負担がある）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について」の25.9%で最も多く、ついで「地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について」の17.4%、「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の15.8%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて」が4.4%、「エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について」が7.8%となっています。

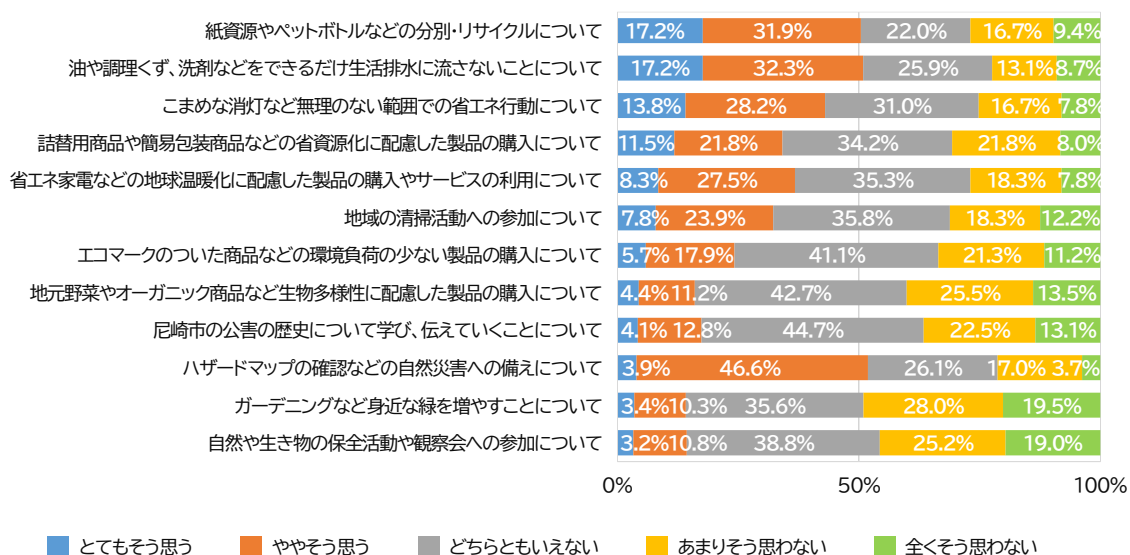
	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	25.9%	46.6%	17.7%	6.4%	1.4%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	17.4%	28.7%	30.5%	13.5%	7.3%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	15.8%	28.7%	24.5%	19.0%	8.9%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	14.7%	30.5%	30.0%	12.4%	9.4%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	11.0%	21.8%	28.0%	26.4%	9.9%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	10.3%	25.5%	31.2%	17.2%	12.8%
地域の清掃活動への参加について	8.7%	20.6%	36.5%	18.6%	12.4%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	8.7%	21.8%	40.4%	14.4%	11.7%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	8.3%	22.2%	36.7%	21.8%	8.0%
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	8.0%	21.6%	27.8%	23.6%	16.3%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	7.8%	22.5%	41.1%	17.0%	9.2%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	4.4%	13.8%	45.9%	20.2%	12.6%



3. 社会規範評価（取り組まないと後ろめたさを感じる）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の17.2%で最も多く、ついで「油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて」の17.2%、「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の13.8%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が3.2%、「ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて」が3.4%となっています。

	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	17.2%	31.9%	22.0%	16.7%	9.4%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	17.2%	32.3%	25.9%	13.1%	8.7%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	13.8%	28.2%	31.0%	16.7%	7.8%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	11.5%	21.8%	34.2%	21.8%	8.0%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	8.3%	27.5%	35.3%	18.3%	7.8%
地域の清掃活動への参加について	7.8%	23.9%	35.8%	18.3%	12.2%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	5.7%	17.9%	41.1%	21.3%	11.2%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	4.4%	11.2%	42.7%	25.5%	13.5%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	4.1%	12.8%	44.7%	22.5%	13.1%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	3.9%	46.6%	26.1%	17.0%	3.7%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	3.4%	10.3%	35.6%	28.0%	19.5%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	3.2%	10.8%	38.8%	25.2%	19.0%

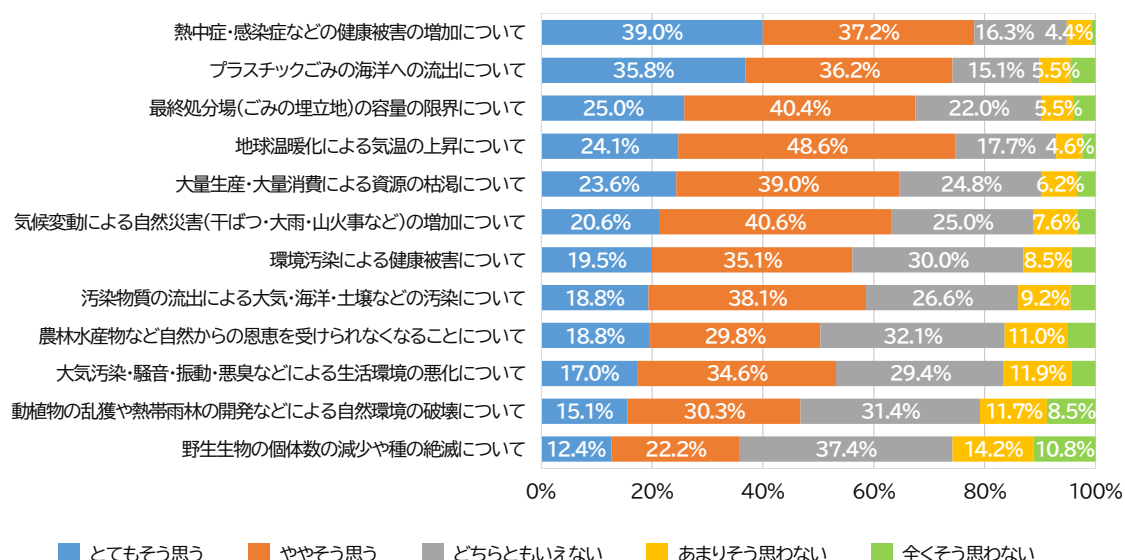


7 行動意図及び目標意図

1. 目標意図（自分自身も何らかの対策を行う必要があると思う）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の39.0%で最も多く、ついで「プラスチックごみの海洋への流出について」の35.8%、「最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について」の25.0%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が12.4%、「動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について」が15.1%となっています。

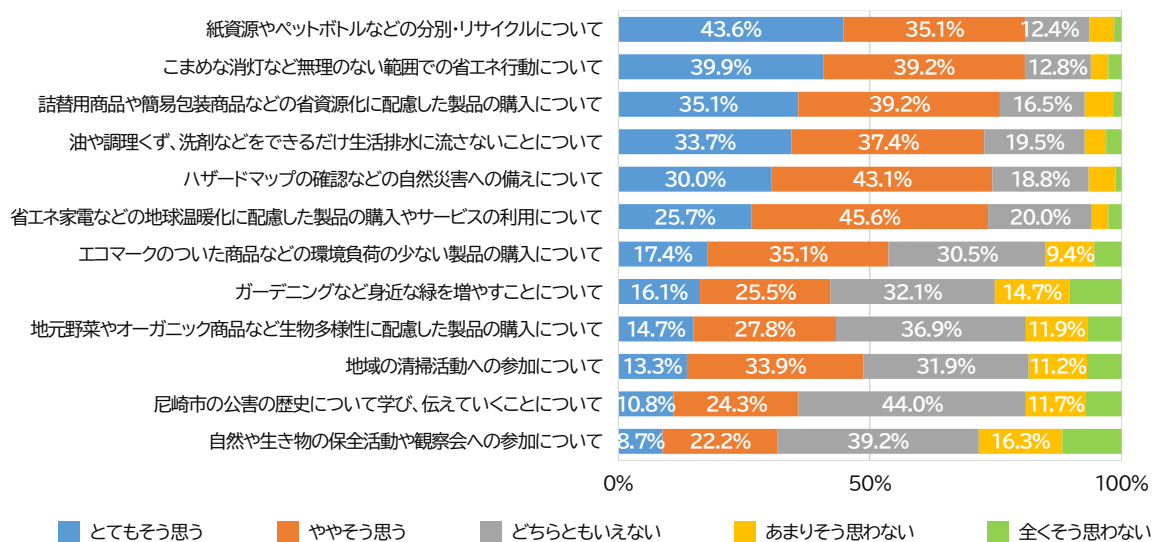
	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	39.0%	37.2%	16.3%	4.4%	0.7%
プラスチックごみの海洋への流出について	35.8%	36.2%	15.1%	5.5%	4.4%
最終処分場(ごみの埋立地)の容量の限界について	25.0%	40.4%	22.0%	5.5%	3.9%
地球温暖化による気温の上昇について	24.1%	48.6%	17.7%	4.6%	2.3%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	23.6%	39.0%	24.8%	6.2%	3.2%
気候変動による自然災害(干ばつ・大雨・山火事など)の増加について	20.6%	40.6%	25.0%	7.6%	3.2%
環境汚染による健康被害について	19.5%	35.1%	30.0%	8.5%	4.1%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	18.8%	38.1%	26.6%	9.2%	4.4%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることについて	18.8%	29.8%	32.1%	11.0%	4.8%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	17.0%	34.6%	29.4%	11.9%	4.1%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	15.1%	30.3%	31.4%	11.7%	8.5%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	12.4%	22.2%	37.4%	14.2%	10.8%



2. 行動意図（取り組みたいと思う）の状況

・「とてもそう思う」の選択は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の43.6%で最も多く、ついで「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の39.9%、「詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について」の35.1%となっています。一方、「とてもそう思う」の選択が少ないものは「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が8.7%、「尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて」が10.8%となっています。

	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	43.6%	35.1%	12.4%	4.8%	1.4%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	39.9%	39.2%	12.8%	3.4%	2.5%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	35.1%	39.2%	16.5%	5.5%	1.6%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	33.7%	37.4%	19.5%	4.1%	3.0%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	30.0%	43.1%	18.8%	5.3%	1.1%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	25.7%	45.6%	20.0%	3.2%	2.5%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	17.4%	35.1%	30.5%	9.4%	5.3%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	16.1%	25.5%	32.1%	14.7%	10.1%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	14.7%	27.8%	36.9%	11.9%	6.7%
地域の清掃活動への参加について	13.3%	33.9%	31.9%	11.2%	6.7%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	10.8%	24.3%	44.0%	11.7%	6.9%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	8.7%	22.2%	39.2%	16.3%	11.5%

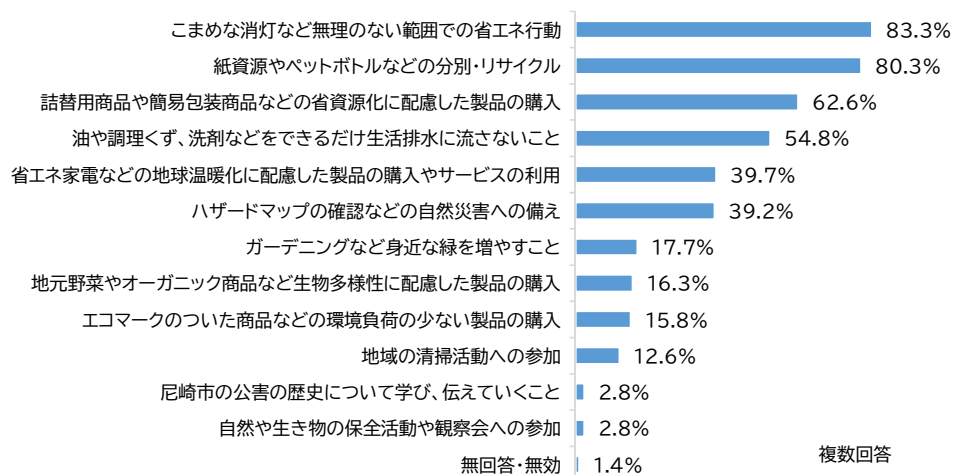


8 環境問題に対する取組み状況など

問12 あなたが現在取り組んでいることについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動」とする回答が83.3%と最も多く、ついで、「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクル」が80.3%、「詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入」が62.6%となっています。

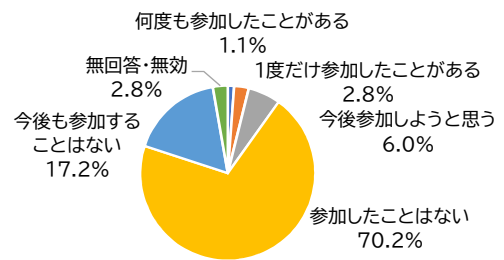
選択肢	合計	割合
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	173	39.7%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	363	83.3%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	171	39.2%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	273	62.6%
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	350	80.3%
地域の清掃活動への参加について	55	12.6%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	69	15.8%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	239	54.8%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	12	2.8%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	71	16.3%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	77	17.7%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	12	2.8%
無回答・無効	6	1.4%
回答数	436	100.0%



問13 尼崎市内で実施されている環境学習活動（自然観察会や市の出前講座など）への参加状況について、あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

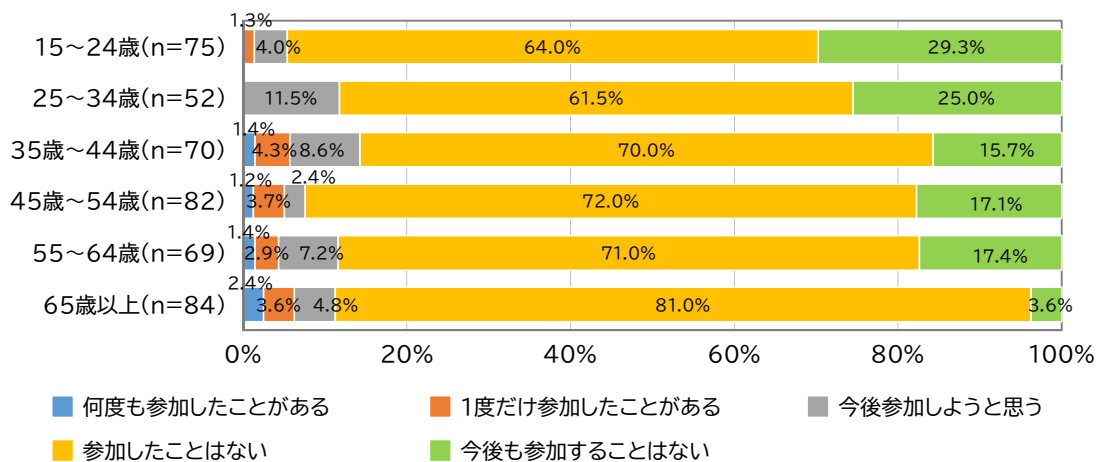
・「参加したことはない」とする回答が70.2%と最も多く、ついで「今後も参加することはない」が17.2%、「今後参加しようと思う」が6.0%となっています。

選択肢	合計	割合
何度も参加したことがある	5	1.1%
1度だけ参加したことがある	12	2.8%
今後参加しようと思う	26	6.0%
参加したことはない	306	70.2%
今後も参加することはない	75	17.2%
無回答・無効	12	2.8%
回答数	436	100.0%



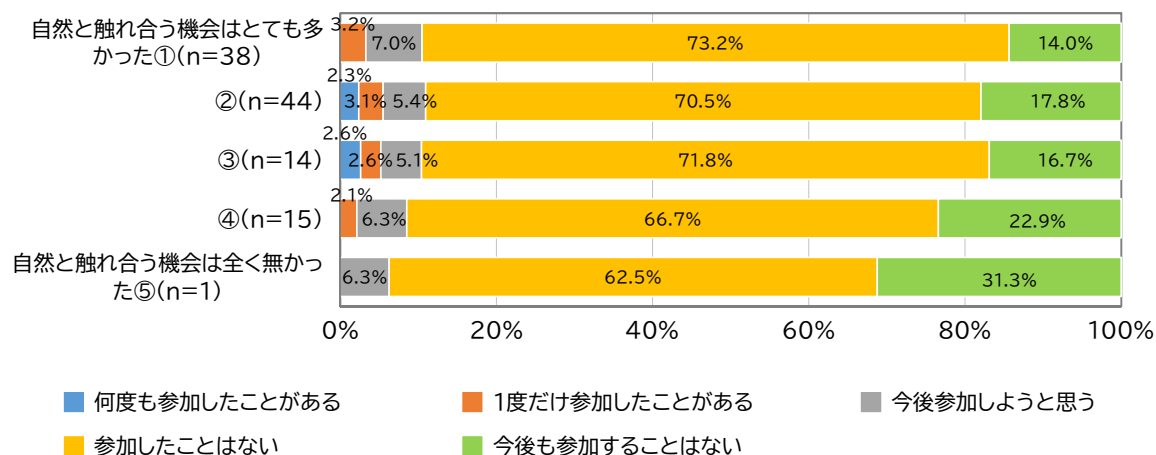
□ 年齢別

・年齢別では、どの世代でも「参加したことはない」とする回答が6割以上を占めており、特に高齢世代ほど高い割合となっています。
 ・「今後も参加することはない」とする回答は、若年層ほど高い傾向にあります。



□ 子どものころ（概ね小学校卒業まで）の自然体験の状況別

・子どものころ（概ね小学校卒業まで）の自然体験の状況別の明瞭な傾向は見られません。

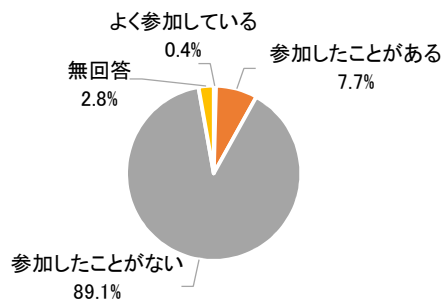


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「市や市民団体、企業などが環境保全活動や学習会などを実施しています。こうした活動に参加したことがありますか」との問いに、「よく参加している」と答える回答と「参加したことがある」と答える回答を合わせると8.1%となっています。
- ・今回の調査では、「何度か参加したことがある」、「1度だけ参加したことがある」と答える回答を合わせると3.9%で、現行計画策定時（2013年）の結果より低い値となっています。

【現行計画策定時の調査結果】

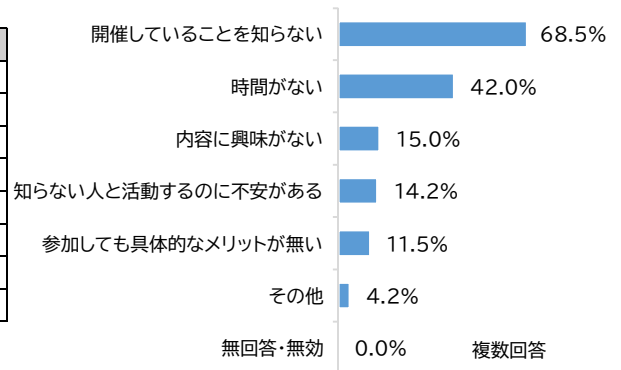
選択肢	割合
よく参加している	0.4%
参加したことがある	7.7%
参加したことがない	89.1%
無回答	2.8%



問14 問13で「4. 参加したことはない」「5. 今後も参加することはない」と回答された方にお聞きします。参加しない理由として、当てはまる番号に○をつけてください。（○は3つまで）

- ・「開催していることを知らない」とする回答が68.5%と最も多く、ついで、「時間がない」が42.0%、「内容に興味がない」が15.0%となっています。

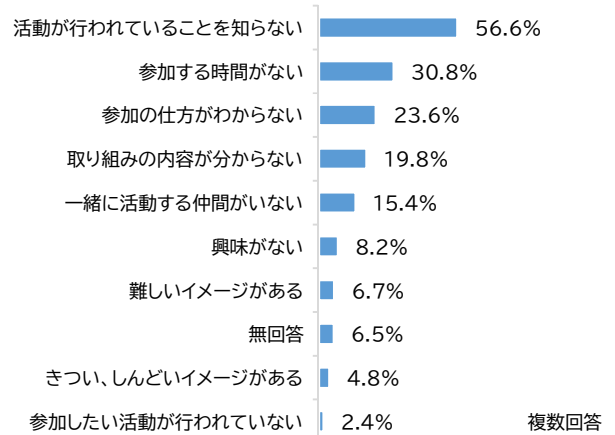
選択肢	合計	割合
開催していることを知らない	261	68.5%
時間がない	160	42.0%
内容に興味がない	57	15.0%
参加しても具体的なメリットが無い	44	11.5%
知らない人と活動するのに不安がある	54	14.2%
その他	16	4.2%
無回答・無効	0	0.0%
回答数	381	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「活動が行われていることを知らない」とする回答が56.6%で、質問の仕方が異なるものの今回の調査と同様の傾向となっています。
- ・「時間がない」とする回答は、今回の調査の方が高い割合となっています。

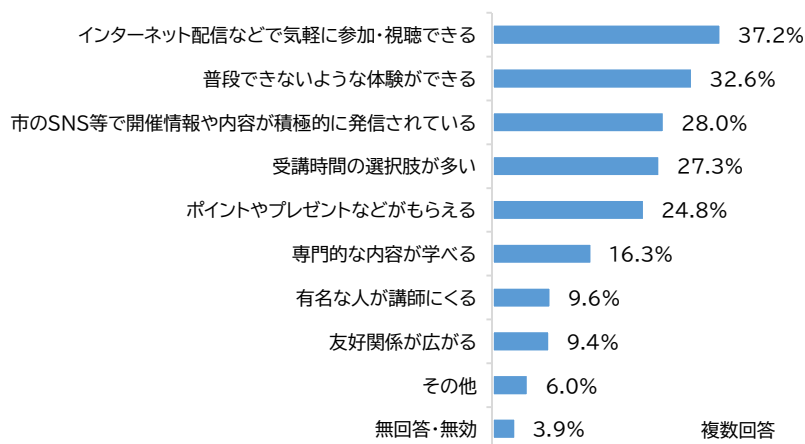
選択肢	割合
活動が行われていることを知らない	56.6%
参加の仕方がわからない	23.6%
取り組みの内容が分からない	19.8%
きつい、しんどいイメージがある	4.8%
難しいイメージがある	6.7%
一緒に活動する仲間がいない	15.4%
参加したい活動が行われていない	2.4%
参加する時間がない	30.8%
興味がない	8.2%
無回答	6.5%



問15 あなたが環境学習活動に参加を検討するための条件は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

・「インターネット配信などで気軽に参加・視聴できる」とする回答が37.2%と最も多く、
ついで、「普段できないような体験ができる」が32.6%、「市のSNS等で開催情報や内容
が積極的に発信されている」が28.0%となっています。

選択肢	合計	割合
市のSNS等で開催情報や内容が積極的に発信されている	122	28.0%
受講時間の選択肢が多い	119	27.3%
インターネット配信などで気軽に参加・視聴できる	162	37.2%
普段できないような体験ができる	142	32.6%
ポイントやプレゼントなどがもらえる	108	24.8%
有名な人が講師にくる	42	9.6%
専門的な内容が学べる	71	16.3%
友好関係が広がる	41	9.4%
その他	26	6.0%
無回答・無効	17	3.9%
回答数	436	100.0%

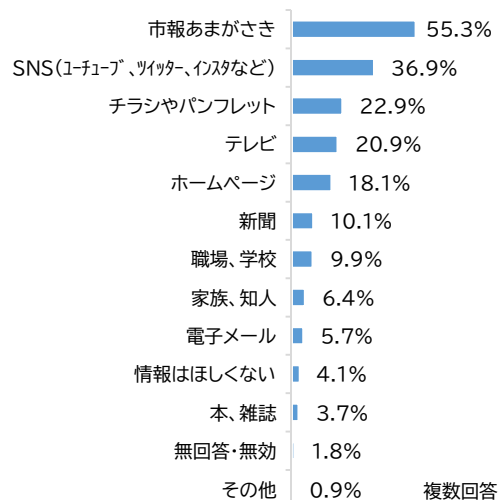


9 環境問題にかかわる情報の取得について

問16 あなたは、環境に関する活動を行うための情報を主にどこから入手したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- ・「市報あまがさき」とする回答が55.3%と最も多く、ついで、「SNS(YouTube、Twitter、インスタなど)」が36.9%、「チラシやパンフレット」が22.9%となっています。

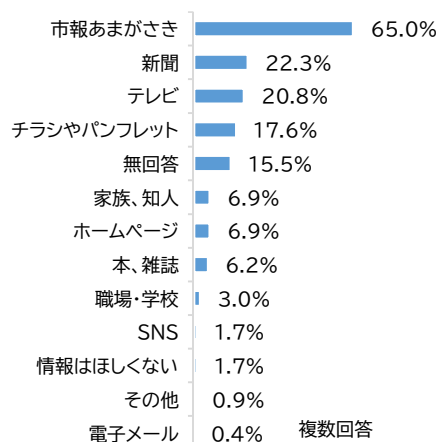
選択肢	合計	割合
市報あまがさき	241	55.3%
チラシやパンフレット	100	22.9%
テレビ	91	20.9%
新聞	44	10.1%
本、雑誌	16	3.7%
家族、知人	28	6.4%
職場、学校	43	9.9%
電子メール	25	5.7%
ホームページ	79	18.1%
SNS(YouTube、Twitter、インスタなど)	161	36.9%
その他	4	0.9%
情報はほしくない	18	4.1%
無回答・無効	8	1.8%
回答数	436	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「市報あまがさき」とする回答が65.0%と最も多く、ついで、「新聞」が22.3%、「テレビ」が20.8%となっています。
- ・現行計画策定時（2013年）に「SNS」とする回答は1.7%でしたが、今回の調査では36.9%と大幅に増加しています。一方で、「市報あまがさき」や「新聞」と答える割合は減少しています。

選択肢	割合
市報あまがさき	65.0%
市や市民団体等のチラシやパンフレット	17.6%
テレビ	20.8%
新聞	22.3%
本、雑誌	6.2%
家族、知人	6.9%
職場・学校	3.0%
電子メール	0.4%
ホームページ	6.9%
SNS(フェイスブック、Twitter、mixiなど)	1.7%
その他	0.9%
情報はほしくない	1.7%
無回答	15.5%



10 SDGsに関する取組状況

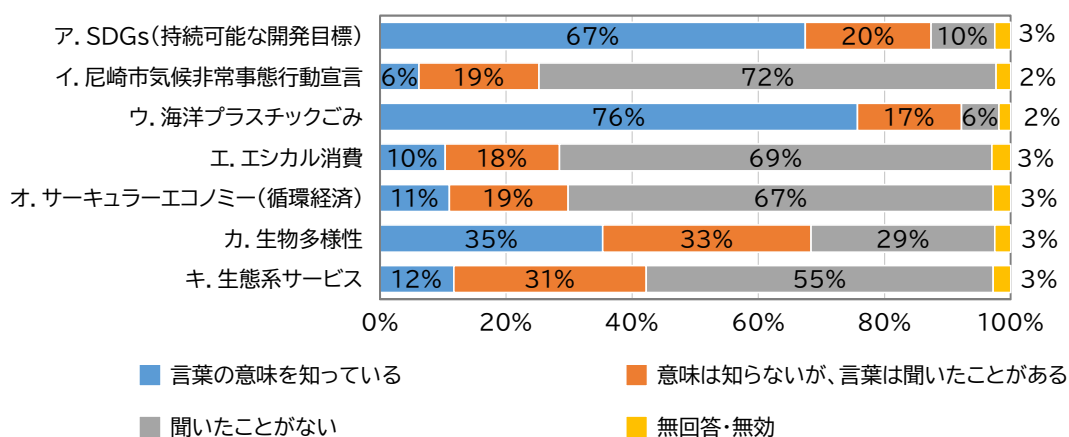
問17 あなたは、PTAや自治会、地域のグループ等で活動を行っていますか。環境に限らず、差し支えない範囲で活動内容をお書きください。（自由回答）

（集計中）

11 環境に関連する知識や認識の状況

問18 次のア～キの言葉について、どのくらい知っていますか。最も近い番号に○をつけてください。（○は1つ）

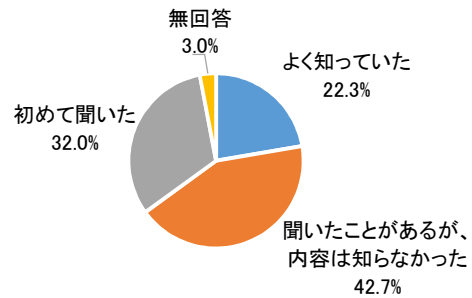
- ・言葉の意味を知っているとする回答は「SDGs（持続可能な開発目標）」や「海洋プラスチックごみ」で高い割合となっています。
- ・「尼崎市気候非常事態行動宣言」、「エシカル消費」、「サーキュラーエコノミー（循環経済）」は「聞いたことがない」とする回答が7割前後となっています。



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の調査結果では、人間の活動による影響等が原因で危機に瀕しているとされる「生物多様性」についてご存じでしたかとの質問に対して、「よく知っていた」が22.3%、「聞いたことがあるが、内容は知らなかった」とする回答が42.7%でした。
- ・今回の調査の方が生物多様性に対する認知度は高くなっています。

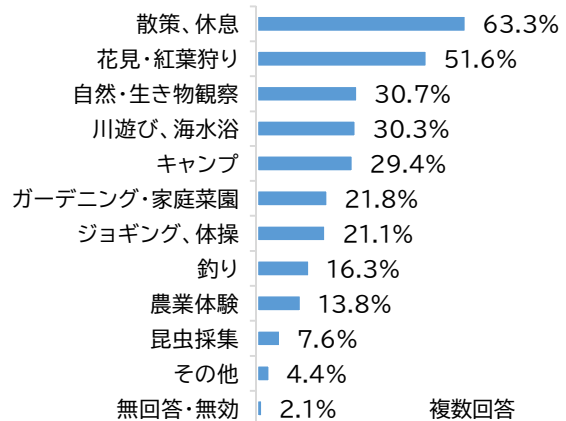
選択肢	割合
よく知っていた	22.3%
聞いたことがあるが、内容は知らなかった	42.7%
初めて聞いた	32.0%
無回答	3.0%



問19 あなたが自然を体験するための活動は以下のうちどれに当たりますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

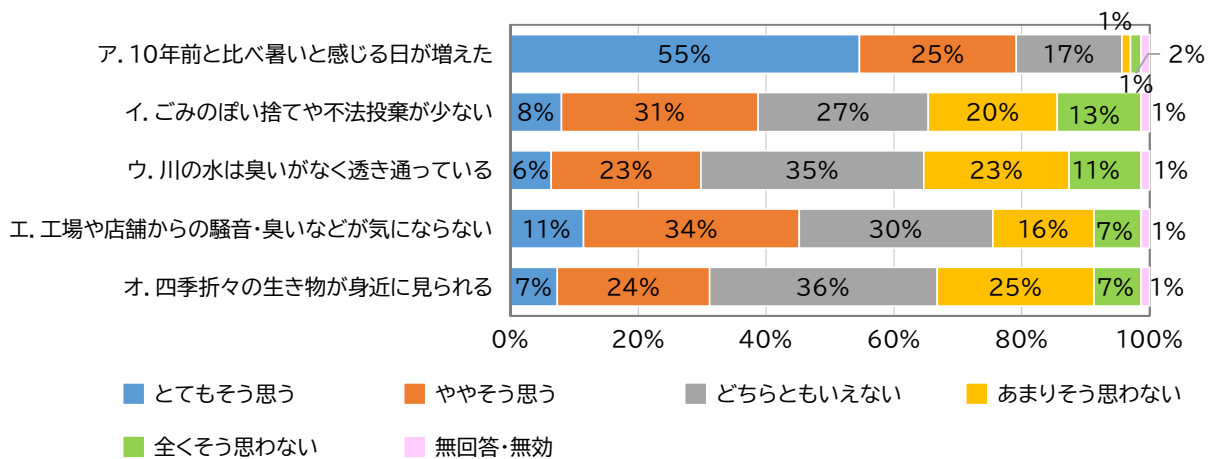
- ・「散策、休息」とする回答が63.3%と最も多く、ついで、「花見・紅葉狩り」が51.6%、「自然・生き物観察」が30.7%となっています。

選択肢	合計	割合
散策、休息	276	63.3%
自然・生き物観察	134	30.7%
川遊び、海水浴	132	30.3%
キャンプ	128	29.4%
ジョギング、体操	92	21.1%
ガーデニング・家庭菜園	95	21.8%
農業体験	60	13.8%
釣り	71	16.3%
昆虫採集	33	7.6%
花見・紅葉狩り	225	51.6%
その他	19	4.4%
無回答・無効	9	2.1%
回答数	436	100.0%



問20 お住いの地域についてお尋ねします。ア～オに示す内容について、それぞれあなたの考え・実感に最も近い番号に○をつけてください(○はそれぞれ1つ)

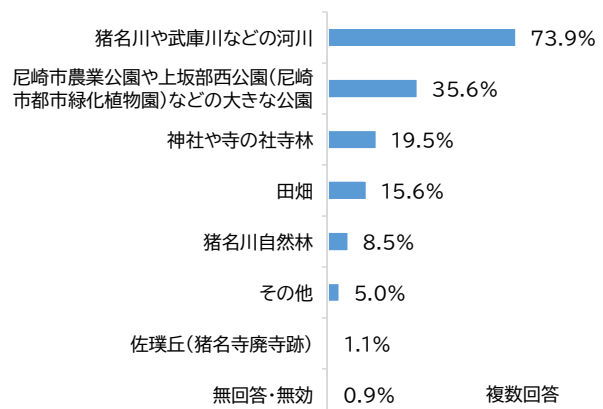
- ・「10年前に比べ暑いと感じる日が増えた」との設問に対して、「とてもそう思う」との回答は55%、「ややそう思う」を合わせると80%となっています。
- ・「ごみのぼい捨てや不法投棄が少ない」、「川の水は臭いがなく透き通っている」、「工場や店舗からの騒音・臭いなどが気にならない」、「四季折々の生き物が身近に見られる」との設問に対しては、「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせても半数に満たない結果となっています。



問21 ニ崎市の自然といえばあなたはどんな風景を思い浮かべますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

・「猪名川や武庫川などの河川」とする回答が73.9%と最も多く、ついで、「尼崎市農業公園や上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）などの大きな公園」が35.6%、「神社や寺の社寺林」が19.5%となっています。

選択肢	合計	割合
猪名川や武庫川などの河川	322	73.9%
猪名川自然林	37	8.5%
佐璞丘(猪名寺廃寺跡)	5	1.1%
尼崎市農業公園や上坂部西公園(尼崎市都市緑化植物園)などの大きな公園	155	35.6%
神社や寺の社寺林	85	19.5%
田畑	68	15.6%
その他	22	5.0%
無回答・無効	4	0.9%
回答数	436	100.0%



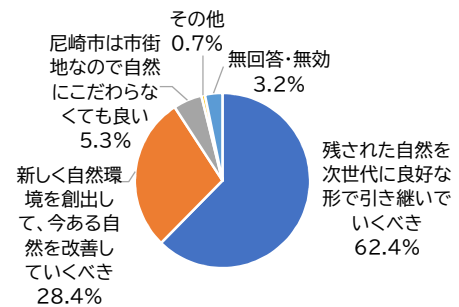
問22 ニ崎市の自然であなたが大切に思っている・今後も守りたいと思っている場所があれば、理由も合わせて具体的に記入してください。

(集計中)

問23 あなたは、尼崎市内の自然環境が今後どうあるべきと思いますか。最も近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

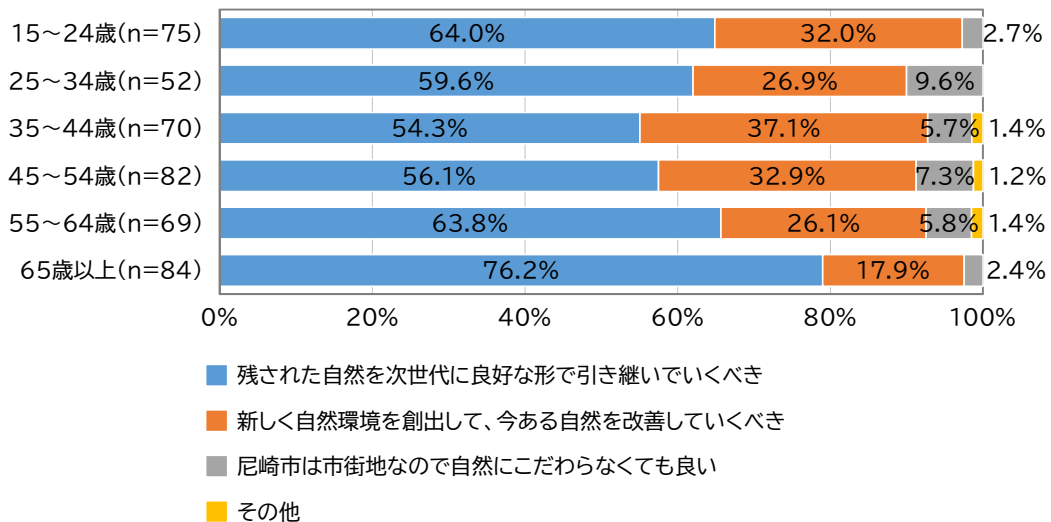
- ・「残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき」とする回答が62.4%と最も多く、ついで「新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき」が28.4%、「尼崎市は市街地なので自然にこだわらなくても良い」が5.3%となっています。

選択肢	合計	割合
残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき	272	62.4%
新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき	124	28.4%
尼崎市は市街地なので自然にこだわらなくても良い	23	5.3%
その他	3	0.7%
無回答・無効	14	3.2%
回答数	436	100.0%



□ 年齢別

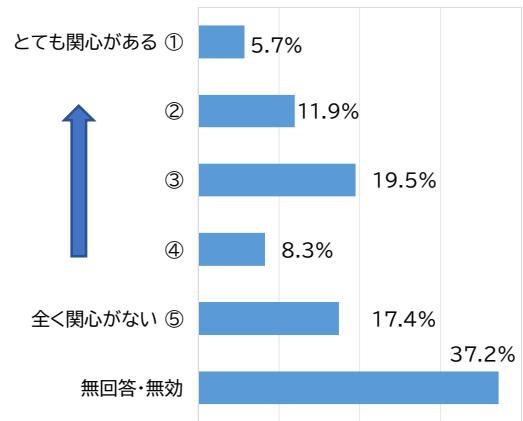
- ・年齢別の大きな傾向として、高齢世代ほど「残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき」と答える割合が高く、若い世代ほど「新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき」と答える割合が高くなっています。



問24 現在投資を行っている方にお尋ねします。環境や社会問題、企業のあり方などを考慮して投資をおこなうことをESG投資といいます。あなたはそのような投資に関心がありますか。5段階でお答えください。(〇は1つ)

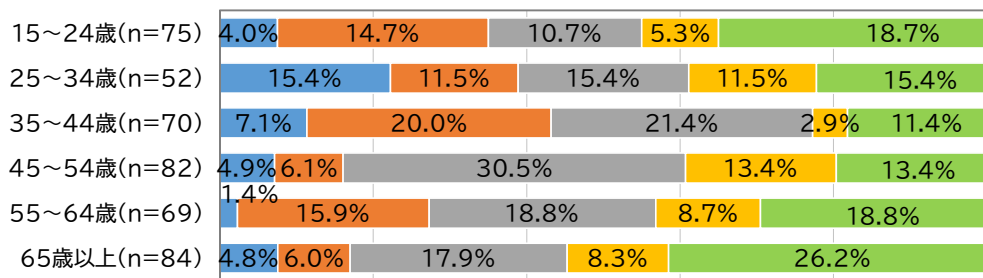
・「無回答・無効」とする回答が37.2%と最も多く、ついで、「③」が19.5%、「全く関心がない ⑤」が17.4%となっています

選択肢	合計	割合
とても関心がある ①	25	5.7%
②	52	11.9%
③	85	19.5%
④	36	8.3%
全く関心がない ⑤	76	17.4%
無回答・無効	162	37.2%
回答数	436	100.0%



□ 年齢別

・年齢別では、25~34歳で「①とても関心がある」と答える割合が高くなっています。
 ・①、②をあわせた結果で見ると44歳までの比較的若い世代で関心が高い結果となります。



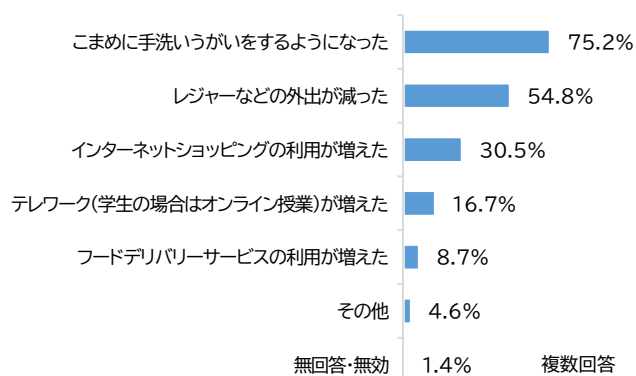
■ とても関心がある ① ■ ② ■ ③ ■ ④ ■ 全く関心がない ⑤

12 新型コロナウイルス感染症から受けた影響について

問25 新型コロナウイルス感染症の影響を受けてあなたの生活はどのように変化しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・「こまめに手洗いうがいをするようになった」とする回答が75.2%と最も多く、ついで、「レジャーなどの外出が減った」が54.8%、「インターネットショッピングの利用が増えた」が30.5%となっています。

選択肢	合計	割合
テレワーク(学生の場合はオンライン授業)が増えた	73	16.7%
フードデリバリーサービスの利用が増えた	38	8.7%
インターネットショッピングの利用が増えた	133	30.5%
こまめに手洗いうがいをするようになった	328	75.2%
レジャーなどの外出が減った	239	54.8%
その他	20	4.6%
無回答・無効	6	1.4%
回答数	436	100.0%



13 自由意見

◆自由意見欄 計画の改定・戦略の策定に関するご意見やご要望、また、尼崎市の環境について、良いところや気になるところなどを自由にご記入ください。

(集計中)